

8Pスペシャル読切
KIKI KAIKAI

怪々

Presented by Nantan Juhnichi
南天

こんばんは
お嬢さん
私は吸血鬼です

わあっ
コウモリだ！

珍しい……

もっと
珍しいの
来た！

こよい
今宵は貴女の
血を頂きに
参りました

吸血鬼がやってきた。

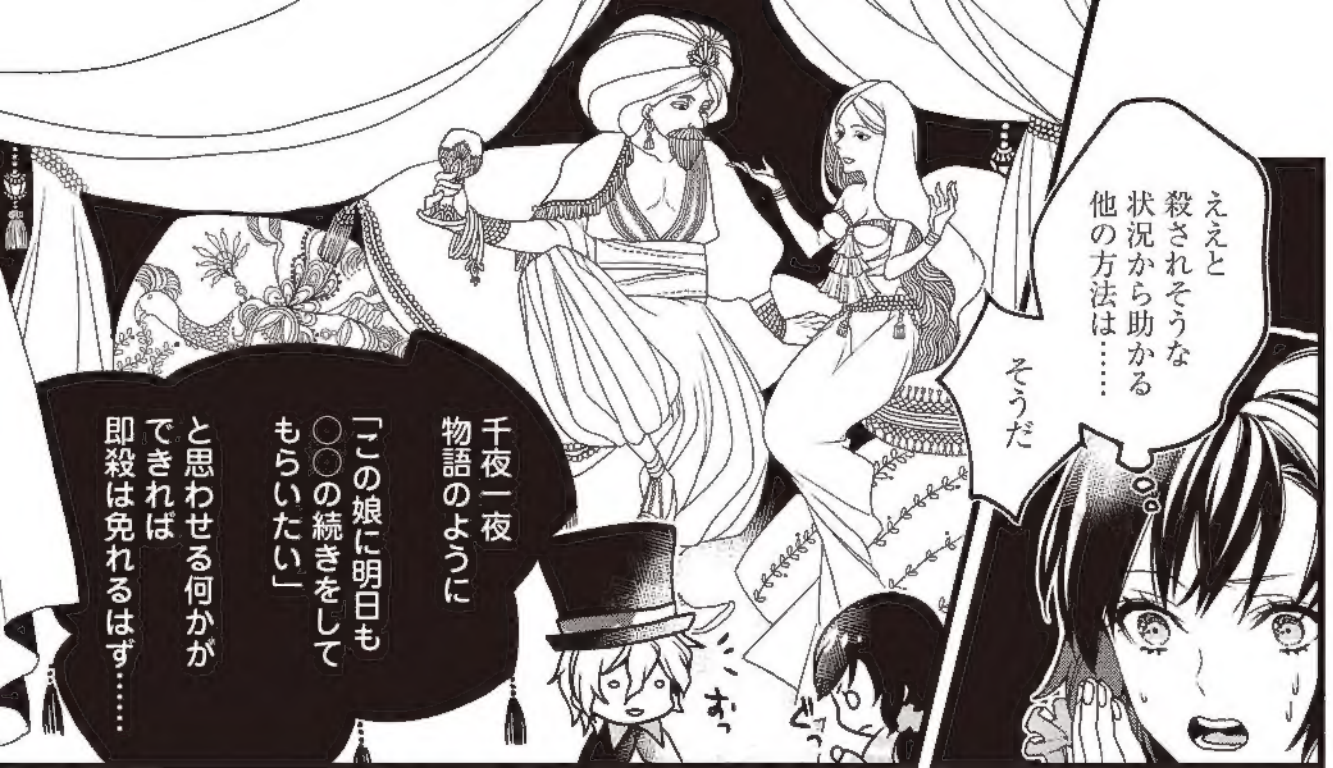
まかりません

献血程度の
量には
まかりませんか

死にます

血を吸われたら
私は
どうなるのですか



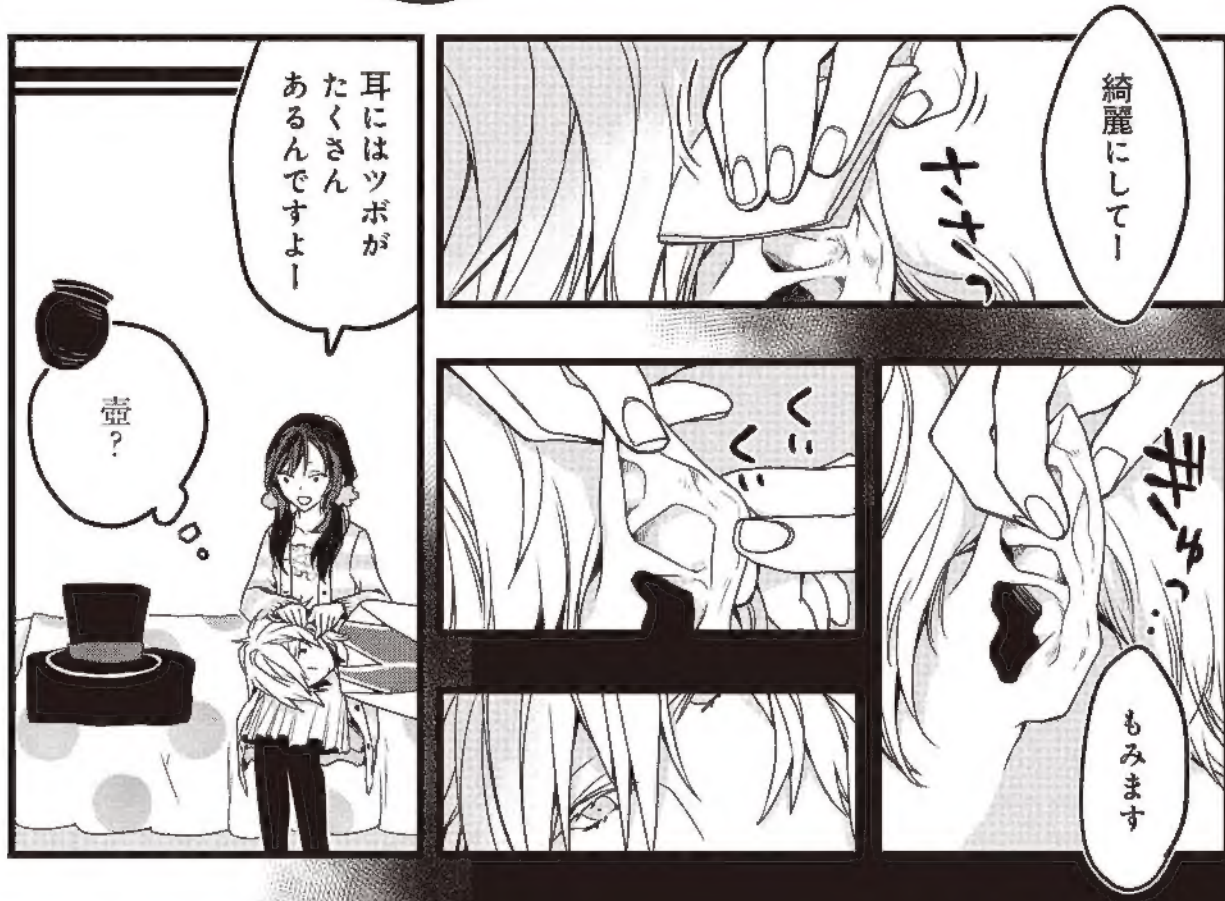


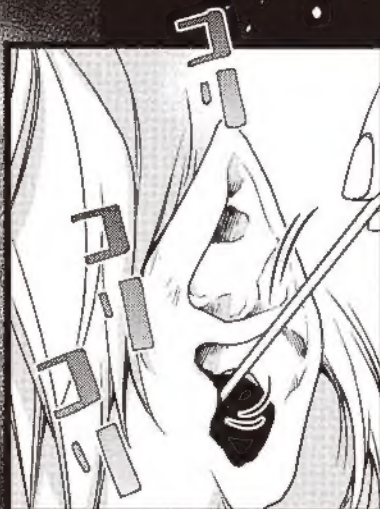


たしか吸血鬼は
聴覚が鋭い……

そこを利用して
なにか攻撃する？







どうです
なかなか
気持ちいい
でしょ？



ええ
悔しいが
悪く
ありませんね



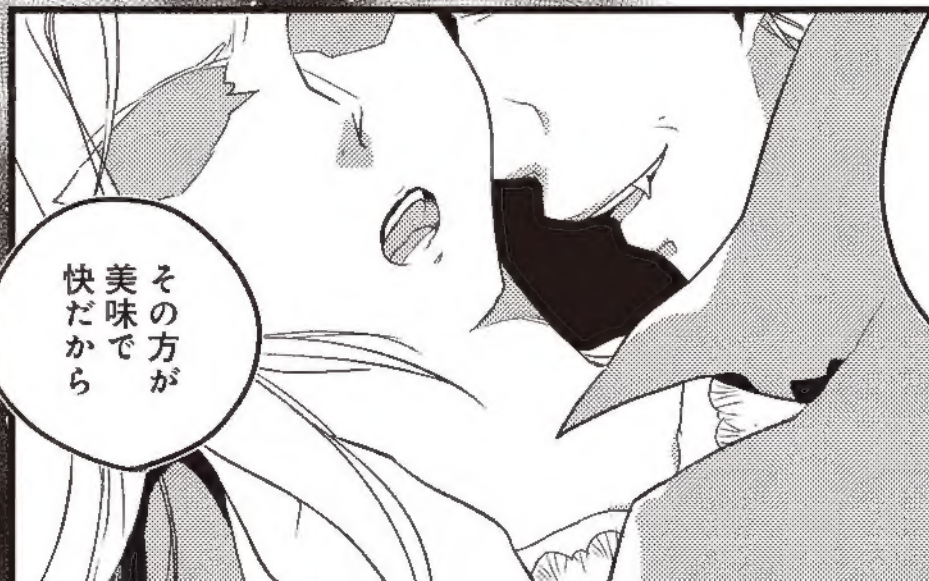
……
気持ちがいい
というのは
良いことです

生き物は
苦痛には
耐えられても

快楽を
耐えることは
できない

生きるために
食すなら
栄養さえとれば
何でもいはずなのに
食材の味にこだわる
者がいるのは

その方が
美味で
快だから



他者に快を
与えられる
者は強い

物語の続きを
聞きたいがために
王が妃を
殺さなかったのは

面白さを味わう
快感の虜^{もよお}に
なってしまった
から……



へー



これで
どうだ？

えーと
もう片方の耳は
明日の晩に
掃除してあげるの
で
今日はこれ
でお引き取り
願えませ
ん
でしょう
か？



今している
耳かきも
ですねー

人によっては
毎日したく
なるほど
気持ち
がいいと……

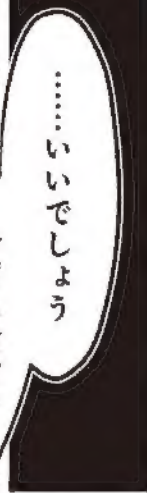


はっ





おや
考えましたね



……いいでしょう



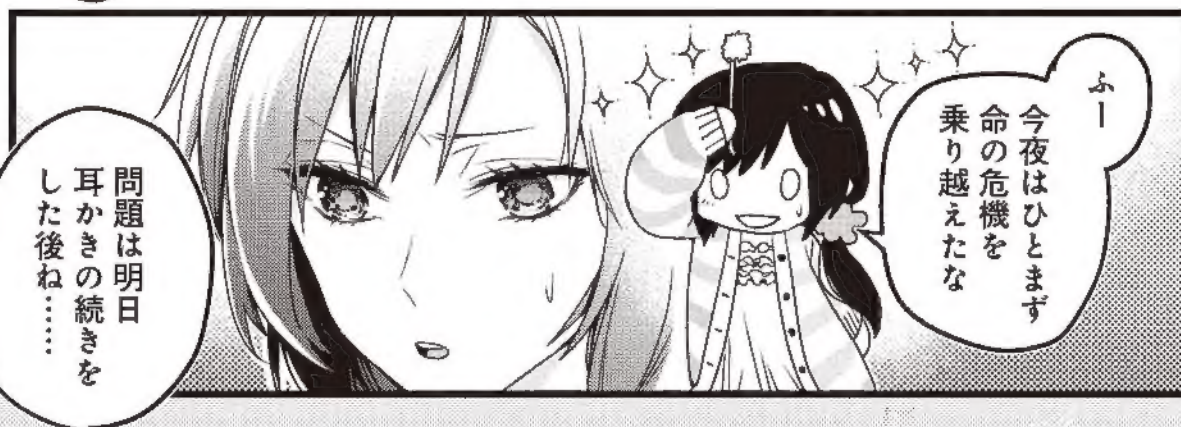
今宵は貴女の
血を吸うのは
やめておきます



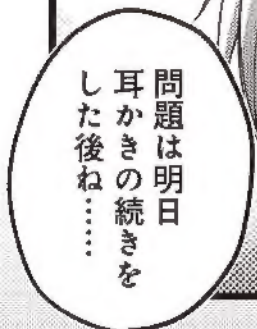
それでは
また明日



はい
さよなら



ふー
今夜はひとまず
命の危機を
乗り越えたな



問題は明日
耳かきの続きを
した後ね……



またなにか
快を
与えられる
方法を

見つけられたら
助かるかな？

こうして吸血鬼は 夜な夜な
少女の元を訪れるようになった。

奇怪快

おわり

南天十二日先生の
再登場にご期待ください！

奇々怪快な日々

